

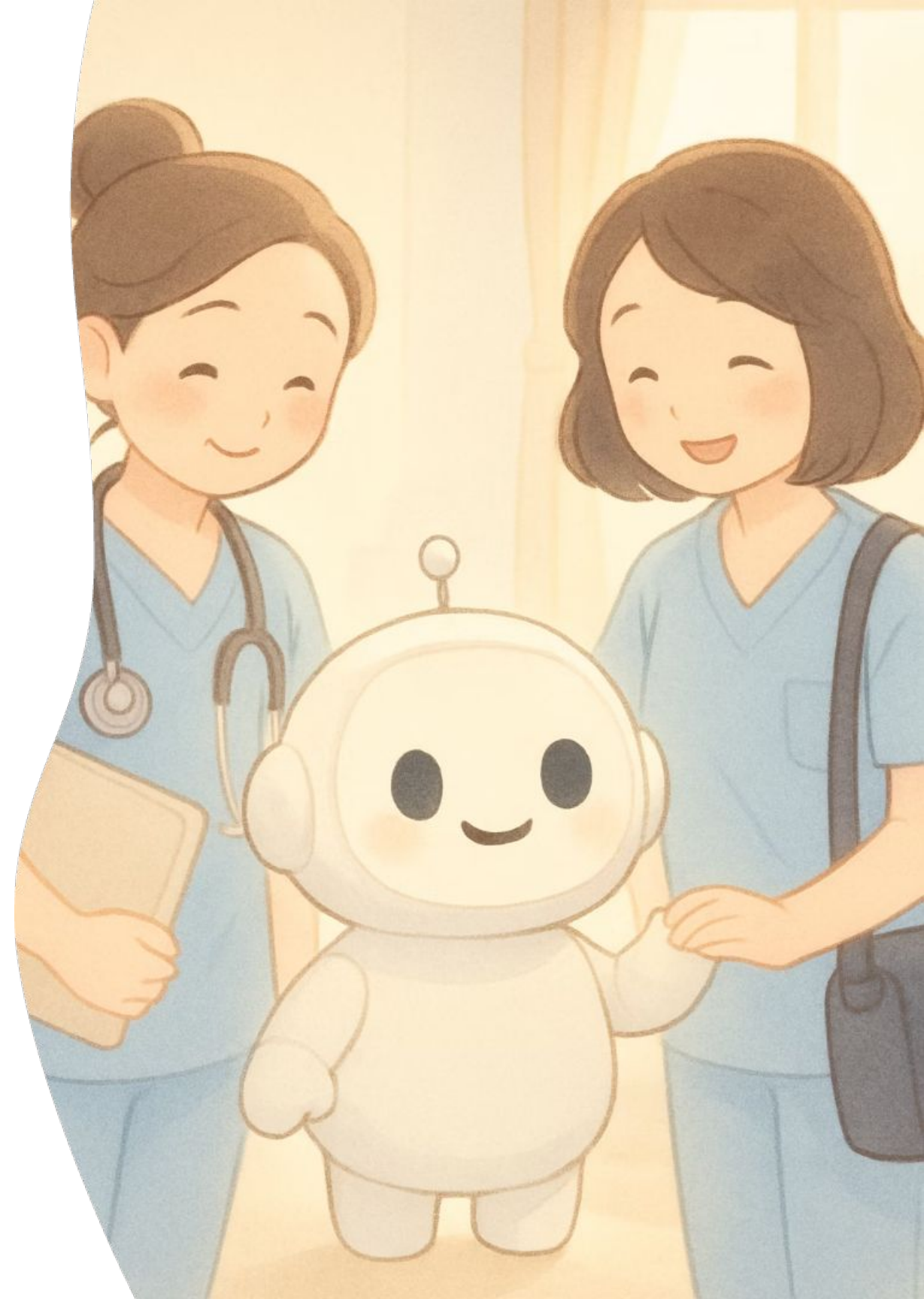
# AI講座 第8回

## 失敗しない！

# AI導入プロジェクトの計画と実行

—スタッフを巻き込み、残業削減を組織で実現する—

定着採用株式会社 永田 一平





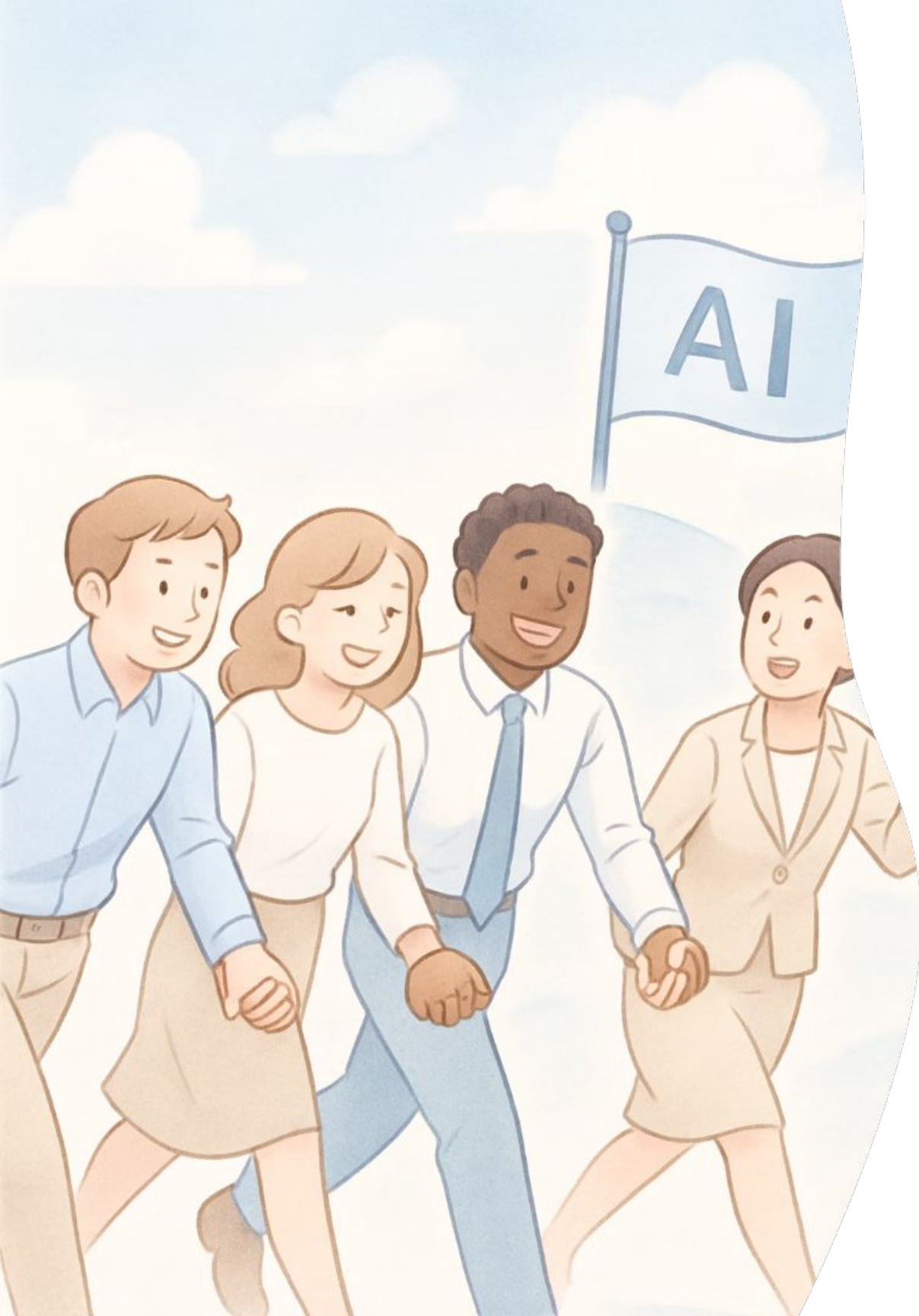
# 前回の振り返りと今回のテーマ

## 1 前回の振り返り

なぜ今、AIへの投資が重要か。国の政策、コスト削減効果、何もしないリスク。AI導入は戦略的投資です。

## 2 今回のテーマ

AI導入をどうやって成功させるか？「**実行**」のフェーズに焦点を当てます。



# 今回の結論と成功の鍵

## 本日の結論

AI導入プロジェクトの成功は、適切なツールの選定、段階的な計画、そしてスタッフを積極的に巻き込み、変化への不安に寄り添う丁寧なコミュニケーションとサポート体制 にかかっています。

## なぜなら

どんな優れたツールも、現場スタッフが納得し前向きに取り組まなければ意味がないからです。「技術」と同じくらい「人」と「プロセス」が重要です。

## 例えるなら

素晴らしい治療方針も、患者さんの理解・協力・実行計画がなければ効果が出ないのと同じです。

# ステップ1 - 最適なAIツールを選ぶ



## 報告書作成への適性

日本語の自然さ、指示通りの文章生成



## 使いやすさ

ITが苦手なスタッフでも直感的に使用できるか？



## セキュリティ

## プライバシー

法人利用でのデータ保護、  
学習への利用有無  
(最重要！)

| 日本の医療におけるAIツールの費用便益分析                                                                          |  |                                                                                              |  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|--|----------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 費用                                                                                             |  | 便益                                                                                           |  |
|  導入・運用コスト   |  |  業務の効率化   |  |
|  トレーニングの必要性 |  |  診断精度の向上  |  |
|  誤診のリスク     |  |  医療アクセス拡大 |  |
|  プライバシーの懸念  |  |  患者のケア改善  |  |

## コストと機能

無料/有料プラン、費用対効果、  
ファイルアップロード等

## 結論:

「みんなが使っているから」ではなく、自社のニーズ(特にセキュリティ要件)に最も合致するツールを根拠を持って選定

# ステップ2 - 段階的導入計画を立てる



## 1. 明確な目標設定

3ヶ月後に報告書作成関連の残業時間を平均30%削減



## 2. 試行導入フェーズ

対象者選定、期間設定、使い勝手確認



## 3. 段階的展開フェーズ

試行結果を踏まえ対象者を徐々に拡大



## 4. 全体展開フェーズ

現実的なスケジュールで全社展開

**結論:** AI導入は「スモールスタート」(段階的に進める)を強く推奨。小さな範囲で試行錯誤し、学びながら進めることで、スムーズな全社展開が可能です。



## ステップ3 - スタッフを巻き込み、 変化への抵抗に対応する(1/2)

最も重要なポイントは人の関わり

「スタッフの巻き込み方」と「変化への対応」が計画実行で最も重要です。

プロジェクト成功の決め手

技術よりも「いかにスタッフの不安を取り除き、前向きな協力を得られるか」にかかっています。

変化への抵抗への理解

人は変化に不安や抵抗を感じるもの。不安に寄り添わず強行すれば、反発が起こりAIが使われない「宝の持ち腐れ」になります。

# ステップ3 - 具体的なポイント(2/2)

「なぜ導入するのか？」を繰り返し伝える  
スタッフの負担軽減、より良いケア提供のため(経営者自身の言葉で)

1

2

スタッフを「当事者」として巻き込む

試行導入チームの意見反映、説明会実施と質疑応答、定期的なヒアリング

3

手厚い教育・サポート体制

学習機会の提供、操作マニュアル・Q&A集の整備、相談窓口設置、個別フォローアップ

4

不安や懸念に真摯に向き合う

共感的に傾聴し、丁寧に説明して誤解を解き、安心感を与える

5

小さな成功体験を共有する

ポジティブな声(「早く報告書ができた!」「残業せずに帰れた!」)  
を共有し、モチベーション向上へ

# ステップ4 - 効果測定と継続的な改善 (PDCA)



## Plan(計画)

明確な目標設定と測定指標の決定



## Do(実行)

AI導入の実施と運用開始



## Check(評価)

報告書作成時間、残業時間、スタッフ満足度の変化を測定



## Act(改善)

プロンプトやルールの見直し、成功事例の共有・表彰

**結論:** 導入後も継続的に効果測定と改善を続けることで、AIは真にステーションの力となり、持続的な業務効率化とケアの質向上に貢献します。

# まとめ

## 1. 最適なツール選定のポイント

セキュリティ重視で慎重に選定する！比較検討が重要

## 2. 段階的導入の進め方

「スモールスタート(試行導入)」で段階的に。計画と目標を明確に！

## 3. スタッフ巻き込みの秘訣

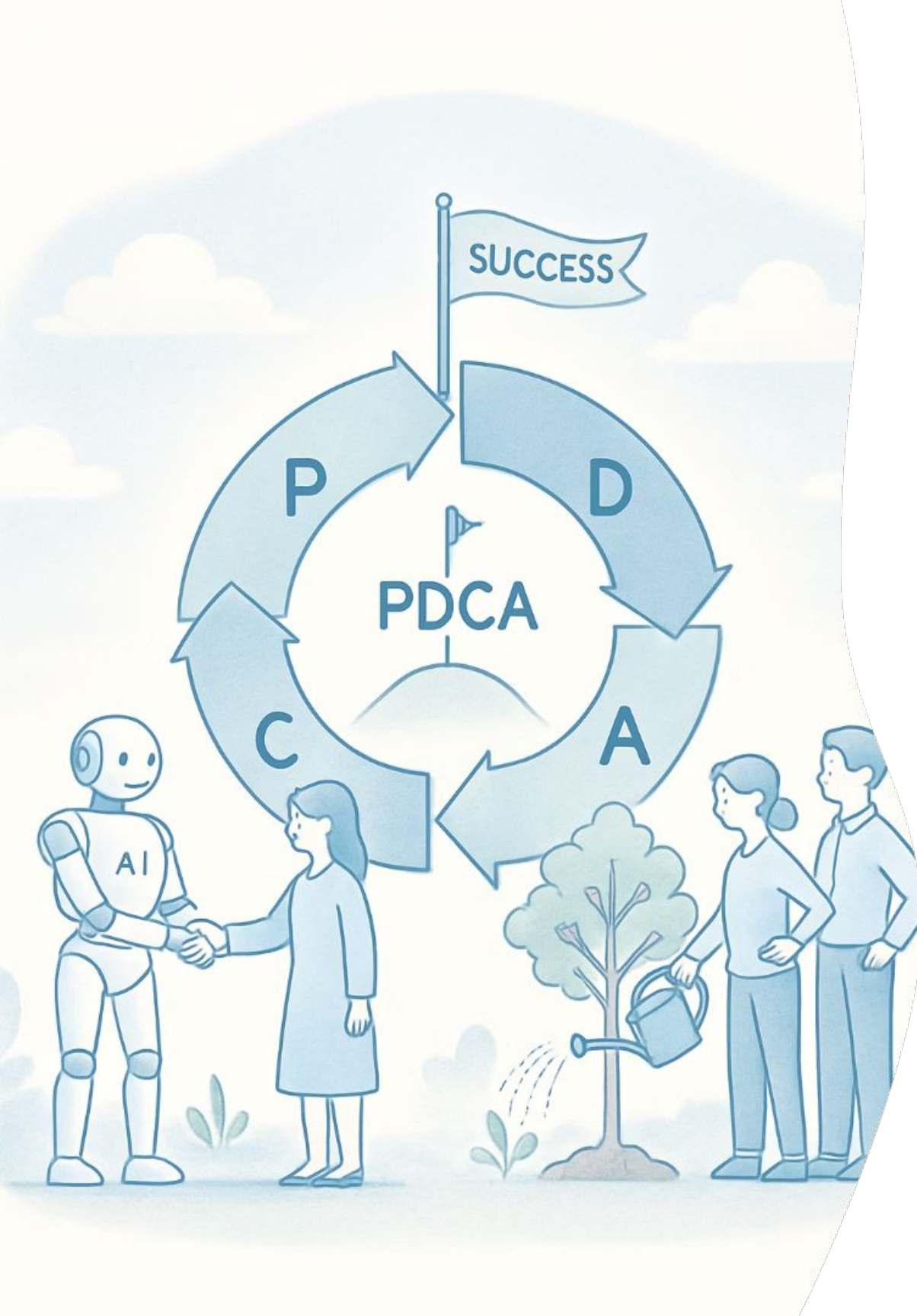
スタッフの不安に寄り添い、丁寧なコミュニケーションとサポートで巻き込む！

## 4. 継続的改善の仕組み

導入後も効果測定と改善(PDCA)を継続し、定着させる！

## 成功のために

経営者・管理者のリーダーシップが試されるが、丁寧に進めれば必ず成果は出る。



# 次回予告

## 第9回テーマ【経営者向け】

AIで創る！「ケアに集中できる」訪問看護ステーションの未来像

AI活用で生まれた時間やデータをどう活かし、

『ケアの質向上』

『ステーションの価値向上』

『スタッフがいきいきと働ける環境づくり』

繋げるか、その可能性を探っていきます！

本日はご清聴ありがとうございました

